

4 m 未 満 の 道 路 を 広 く し ま す 。

狭あい道路拡幅整備事業のご案内

※狭あい道路とは建築基準法適用時に立ち並びのあった、1.8m以上
4.0m未満の道(同法第42条第2項に規定する道路)をいいます。

建築基準法では建物を建築する場合、道路中心線から2mの部分(後退用地)に
建物を建築したり門や塀をつくることは出来ません。

狭あい道路に接して建築する場合は、後退の必要有無に関わらず事前協議書の提出が必要です。
提出していただいた事前協議書により、後退用地を寄付していただけるかの意向を確認させていただきます。

後退用地を**寄付**していただける場合は、以下のことを行います。(寄付は強制ではありません)

1. 市の費用で**測量・分筆・登記、後退用地の整備・管理**を行います。
2. **擁壁**(平均50cm以上)の撤去・新設・擁壁に伴う舗装工事、水道メーター等の移設には、**助成金**を交付します。
3. **隅切り用地**を寄付していただける場合は、**奨励金**を交付します。

■補足事項

事前協議書の提出前に必ずお読みください。

- ・建替え等の工事がなくても、いつでも寄付の申し込みが出来ます。
- ・道路の反対側に川等がある場合、反対側の道路境界線から4mの一方後退になります。
- ・宅地分譲目的の業者の場合は、狭あい事業を使つての寄付は受けられません。
- ・**後退用地の整備工事は沼津市に所有権移転後、半年から1年程お待ちいただきます。**
そのため、早期に舗装を行って欲しい等の要求はお受けできません。
- ・登記されている面積を測量面積に直しますので、新しい面積での**固定資産税**になります。
(後退用地部分を分筆した後、宅地側の面積が分筆前の面積より増える場合があります。)
- ・擁壁の助成金を申請されない場合には、後退用地の**舗装**を市で行います。
(すでに舗装されている路線に限ります。舗装されていない場合は舗装は致しません。)
- ・隣接・対側の方と境界が決まらなかった場合、分筆登記が出来ないので寄付を受けることが出来ません。その場合、助成金等は交付できません。
- ・後退用地は、**申請者が更地**にしてください。**既設構造物や配管等の撤去**をお願いします。
また、更地にいただいた後に所有権移転の手続きとなりますのでご注意ください。

※現況が狭あい道路であっても下記の場合等で寄付を受けられない可能性があります。

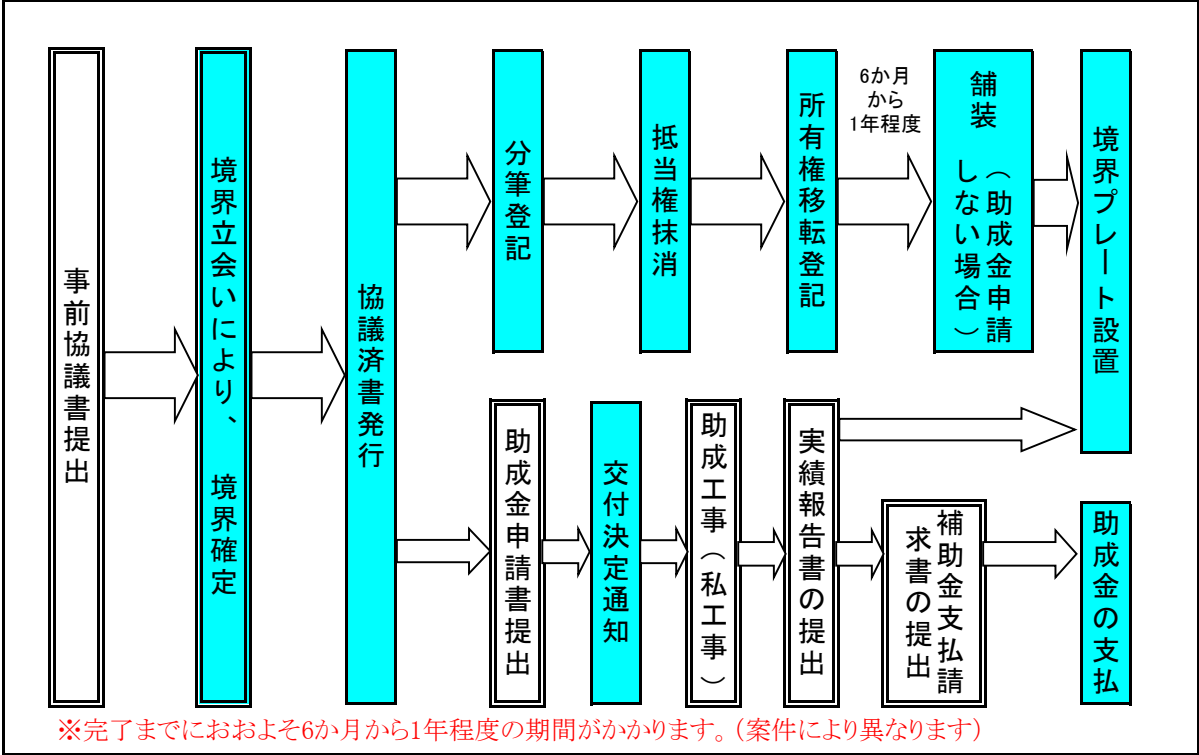
- ・公図上で対象道路の幅員が4m以上ある場合
- ・市が管理する道路ではない場合(私道等)
- ・過去に隣接・対側地付近で境界査定が不調となっている場合

お問い合わせ先 **沼津市 都市計画部 建築住宅局 住宅政策課**

TEL 934-4766

主な事業の流れ(寄付の場合)

※二重線枠は、申請者で行う作業、網掛部分は、市で行う作業



助成金・奨励金一覧表

補助対象項目		内 容	金 額	上 限
助成金	水道メーター等移設	道路拡幅用地内の水道メーター等を敷地内へ移設する。	1箇所あたり 20,000円	1敷地あたり 合計150万円
	擁壁撤去	道路拡幅用地内にある。擁壁を撤去する。(H=1.5m未満)	1メートルあたり 3,700円	
		道路拡幅用地内にある。擁壁を撤去する。(H=1.5m以上)	1メートルあたり 8,400円	
	擁壁新設	道路拡幅用地と敷地との境界線に沿って擁壁を新設する。(H=1.5m未満)	1メートルあたり 1,7000円	
		道路拡幅用地と敷地との境界線に沿って擁壁を新設する。(H=1.5m以上)	1メートルあたり 32,000円	
	舗装	道路拡幅用地と道路との段差解消を目的とした舗装工事を行う。	1平方メートルあたり 1,600円	
奨励金	隅切り用地	隅切り用地を市に寄付する。	固定資産税評価額の10/7	100万円

1. 助成金の額は、見積書に記載された金額に2分の1を乗じて得た額と上記金額により積算した額とを比較していずれか少ない額とする。
2. 擁壁とは、狭あい道路と敷地の平均高低差が50センチメートル以上あるもので、土圧に耐えられるコンクリート造の構造物をいう。